

フォローアップセミナー

改革の要点を確認

全社協 経営協が東京で開催

全国社会福祉法人経営者協議会は20日、昨年度本格施行された改正社会福祉法に伴う社会福祉法人制度改革の具体的な実務に対応できるように、事務担当者向けのフォローアップセミナーを都内で開いた。全国の法人から計約340人が出席し、改革のポイントや、よくある誤りを改めて確認した。

セミナーでは、経営協制度・政策委員会の千葉正展委員（独立行政法人福祉医療機構）

が、改革に伴う財務規律の強化について解説。財務諸表等電子開示システムの入力のポイントを同機構の担当者説明した。このほか、経営協事務局がよく寄せられる質問とその回答を紹介した。

冒頭、経営協の浦野正男・地域共生社会推進委員長（社会福祉法人中心会理事長）が、経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上など改革の要点を示し、「事務担当者の日々の努力が社会福祉法人に対する社会的な評価の向上につながる」とエールを送った。

セミナーは、社会福祉法人から、改革後の法人組織運営に関する質問が多く寄せられたことから、初めて企画。同セミナーは福岡県、大阪府、宮城県でも開催した。

（市川傑）